

センター月だより

〒507-0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

指導日誌より

= 瑞浪地区 =

・無灯火自転車の高校生が2人いた。声をかけるとすぐに返事して灯火してくれた。(10/7 瑞浪 A)

・学生に出会うことがありませんでした。コンビニの前で若者が2~3人がたまって話しをしていたぐらいで特に問題はありませんでした。(10/14 陶 E)

・駅前駐車場広場で高校生ぐらいの男女が、サッカーボールでリフティングや対面キックなどして遊んでいた。車道にボールが飛び出す恐れがあるので注意した。(10/18 日吉 J)

・子どもたちの姿はなかったが、ウォーキング中の大人達には何度か出会った。コンビニとディスカウントストアで、スタッフに最近の様子等を尋ねる。特段、問題なさそう。(10/19 稲津 F)

= 土岐地区 =

・駅前の階段やトイレ前で座りこむ高校生に声かけ、あいさつを返してくれた。トイレ内に吸い殻などは無かった。(10/4 泉 8)

・土岐市駅では2'00頃に数台の単車がエンジンを

ふかしに来ることが増えたそうです。駅東の駐輪場2階から自転車が極端に減り、駅西の新しい駐輪場へ移動していました。土岐商の生徒と思われます。(10/5 泉 9)

・中学生の下校時は日が短くなっているが、そろって自転車で帰る子たちも、安全に気を付けて下校していた。(10/11 鶴里 4)

・土岐市駅西に駐輪場が新設された。ゴミなどは一切なかった。気になっているバイク集団は来ていなかった。(10/12 特 A)

・平成公園に中学生、高校生、有職少年がいた。食べ物のゴミを片付けて帰るよう声かけする。陶史台団地では小学生に、道路で遊ばないように、5時前には帰るように指導した。(10/15 下石)

・コンビニで保護者と買い物中の小中学生に声かけした。知り合いなので笑顔であいさつを返してくれた。巡回中に暗くなり、児童館では「5時までに子どもたちは帰りますよ。」とのことでした。(10/18 駄知 6)

= 多治見地区 =

・高校生3人がショッピングセンターの休憩スペース

◆◆◆ 10月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	2	2	0	4
声かけ人数	498	81	236	815
指導員参加者	61	32	35	128

笑顔の写真

で勉強していたので、帰り道は気を付けるように声をかけた。(10/11 小泉 5)

精華公民館で、習い事に来ていた幼児たちへの声かけで元気をもらいました。徒歩や自転車で下校する大勢の高校生とも気持ち良いあいさつ、声かけが出来ました。(10/11 南姫 9)

小学生は太平公園や児童センターで、ゲームや卓球、一輪車、ボール投げなど、みんなで遊んでいました。児童センターの中高スペースでは、中学生が卓球をしていました。(10/15 池田 6)

10/14の「挨拶で絆の日」(まちづくり市民会議主催)では、養正小 多治見中の校門に多治見高校の生徒がたくさん立って、あいさつ活動の啓発に努めてくれた。ありがたかった。(10/18 養正 1)

すっかり暗くなって、外で子どもたちを見かけることはありません。交流センターでもほとんどの児童が帰宅しており、迎えを待つ小6女子が宿題をしていました。(10/19 根本 10)

いつもと変わらない様子で、学校から帰る子どもたちは元気にあいさつを返してくれた。これから日が短くなるので、気を付けて帰るよう声かけをしていきたい。(10/20 脇之島 12)

今月から16時からの巡回にしたため、児童館、公園、学校には多くの子どもたちが遊んでいた。公民館横の車道で2人の小学生がキックボードであそんでいたため注意した。(10/22 北栄 1)

青森市の女子中学生が8月、いじめ被害を訴える書き込みをスマートフォンに残して自殺しました。その後、青森県黒石市の夏祭り「黒石よされ」の写真コンテストで最高賞に内定した写真にこの生徒が写っていたため、内定が取り消されたことが分かりました。

このことは10月17日、生徒の父、葛西剛さんが生徒の氏名をりまさんと明らかにした上で、「いじめられている子の力になれば」と、受賞予定だった写真を公表したことで明るみに出ました。毎日新聞の取材では、葛西さんは公表に踏み切った理由について「写真には笑顔の娘が写っている。娘は私たち家族に『笑っていて欲しい』と思って会いに来てくれたのではないかと。写真を公表することで、いじめられている子に力を与えたり、勇気づけられたりできれば。こんな笑顔の子ども、いじめで命を失うという残酷さも伝わってほしい」と話しました。

公表後の反響の大きさから、黒石市は19日、生徒が写った写真への賞取り消しを撤回し、市長賞を授与すると発表しました。

報道やネットでの大きな反響はここまででした。青森市が今回の「いじめ」問題について第三者委員会を設置し調査しているとの報道はありましたが、その続報はありません。

今回、黒石市の対応が混乱し注目を集めました。本当に大切なのは「いじめ」の解明と根絶だと思いますが。

< センターから > 声かけ活動の工夫 ありがとうございます

9月末から10月前半にかけて3地区でそれぞれ班長会議を開催し、班長さん方から9月までの声かけ活動の様子を報告して頂きました。その中で分かったことは、皆さんが一人でも多くの子どもたちと出会うために工夫をされていることでした。いくつかご紹介しますので参考にしてください。

= 工夫例 =

参加人数が多い時は、班を2グループに分け巡回経路を二つ回った。(北栄 11、稲津 F)

班を3グループに分け、朝の登校時と小学生および中学生下校時の3回活動している。(鶴里 4)

学校や地域の情報から子どもたちが集まっていそうな場所を巡回している。(泉 9)

年間で3回、中学校PTAの皆さんと連携し、一緒に巡回している。(妻木 3)

冬の間は日暮れが早いので12月から3月までは、朝の登校時に活動する。(釜戸 G)

土曜日の4時(夏場)、5時(冬場)から公園、児童館、学校等を回っている。(北栄 11)

これらの他、地域の夏まつりや秋祭り、公民館祭り等のイベントに合わせて活動されている班もあります。また、地域の交番・派出所や公民館・児童館、あるいはコンビニや本屋さん等、子どもたちが寄りそうなお店等とも情報交換をして頂いています。今後とも声かけ活動をよろしく願います。